



自衛隊栃木地方協力本部

令和5年度予備自衛官等協力事業所（大臣認定）贈呈



令和5年度予備自衛官等協力事業所（大臣認定）贈呈の様子

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩1等陸佐）は、4月19日（金）、予備自衛官等協力事業所として防衛大臣から認定を受けた事業所（トータルファッションえびはら）に対し、認定証の交付を実施して企業主等との更なる連携の強化を図った。また、受賞された企業主からは「引き続き国への協力をしていく」の声をいただいた。

栃木地本では「今後も、予備自衛官等制度の理解向上を得られるよう努力し、予備自衛官等の志願獲得へ繋げていく」としている。



地本部員と学生みんなで清掃活動（左端：本部長）



自衛隊の紹介をする本部長



礼に始まり、礼に終わる

宇都宮文星女子高等学校と環境美化活動 ～GW前の大掃除！学生と清掃活動～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩1陸佐）は、4月20日（土）栃木地方協力本部（宇都宮市）前において、宇都宮文星女子高等学校サッカー部が実施しているボランティア活動である「愛ロード環境美化活動」に参加した。

この活動は、同女子高担当教諭から元担任の広報官への声がかかりから始まったものであり、今回で17回目となる。

当日は、朝早く集まった2人の先生および31人の女子サッカー部員に自衛隊の紹介を行った後、路肩の草むしりや清掃などを実施した。活動に参加した学生からは「清掃作業は大変だけれど、きれいになった道路を見ると達成感があつて気持ちいいです。自衛官の人にも気持ちよく出勤していただけると嬉しいです」と笑顔のコメントがあつた。

栃木地本は「今後も、学校への協力・交流を積極的に実施していくことで、学校との信頼関係を醸成し、自衛官受験の増加へと繋げていく」としている。



清掃活動に参加した文星女子サッカー部の皆さん